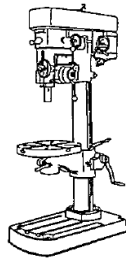
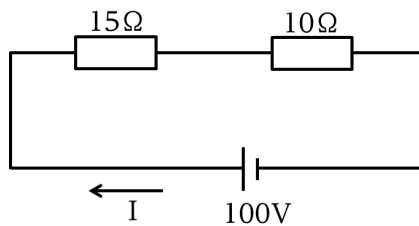


- 1 下図に示す工作機械は、ボール盤である。



- 2 旋盤とは、工作物を主軸に取り付け、工作物を回転させながら加工を行う工作機械である。

- 3 下図に示す回路に流れる電流Iは、4Aである。



- 4 60Hzで使用している三相誘導電動機を50Hzで使用すると、回転数は6/5倍になる。

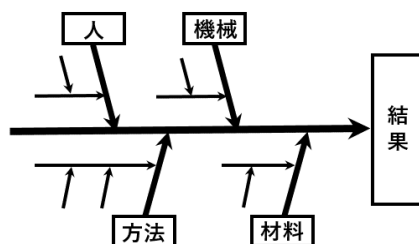
- 5 改良保全とは、設備の故障を起きにくくしたり、設備の性能や安全性を高めるものである。

- 6 故障モードの例として、変形や腐食などが挙げられる。

- 7 定期保全とは、過去の故障実績などを参考にし、一定の周期で点検や検査を行う保全である。

- 8 5W1Hは、災害防止のために必要な安全装置の略称である。

- 9 下図に示すような品質管理の手法は、パレート図である。



- 10 作業標準書とは、誰がやっても同じ結果が出るように、人の動作・機械操作の手順を定めたものである。

- 11 鉄は、銅よりも耐食性に優れる。
- 12 ステンレス鋼は、鉄にニッケルやクロムなどを加えたものである。
- 13 鋼の熱処理の例として、めっきなどが挙げられる。
- 14 ボール盤を使用した切削作業では、必ず手袋を装着する。
- 15 5Sにおける整理とは、必要なものがすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実にを行うことである。

- 16 ねじのリードとは、ねじを1回転させたときに、ねじが軸方向に動く距離のことである。
- 17 平歯車は、噛み合った2つの歯車の軸が平行となる。
- 18 水準器は、水平面や鉛直面に対する傾きを測定する器具である。
- 19 軸受に発生する焼付きの原因の1つとして、潤滑不足が挙げられる。
- 20 潤滑油の粘度が低いほど、油膜が切れにくくなる。
- 21 スポット溶接とは、2つの母材を電極で挟み、加圧しながら通電する溶接方法である。
- 22 鍛造は、作ろうとする品物と同じ形状に作られた空洞部に、溶かした金属を注ぎ込んで作る工作法である。
- 23 非破壊検査には、浸透探傷検査や超音波探傷検査などがある。
- 24 一般的に、油圧は空気圧に比べて、精密な速度制御が困難である。
- 25 油圧バルブのうち、圧力制御弁には、チェック弁や切換弁などがある。
- 26 作動油において、温度による粘度の変化が大きいほど、粘度指数が高いといえる。
- 27 プラスチックは、熱に対する反応によって硬化性と可塑性に分類される。
- 28 電気めっきとは、電気エネルギーによって溶液中の金属イオンを還元し、素材に皮膜を形成させる方法である。
- 29 ばねが自然長から伸び縮みする長さは、弾性力の大きさに反比例する。
- 30 JISにおいて、寸法線を描くには、細い実線を用いる。